

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-96808

(P2005-96808A)

(43) 公開日 平成17年4月14日(2005.4.14)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 25/28	B 6 5 D 25/28	3 E 0 6 1
B 6 5 D 8/02	B 6 5 D 8/02	3 E 0 6 2
B 6 5 D 8/04	B 6 5 D 8/04	3 E 0 9 3
B 6 5 D 17/28	B 6 5 D 17/28	

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願2003-332702 (P2003-332702)	(71) 出願人	503348814 有限会社東洋工業 静岡県掛川市大野527
(22) 出願日	平成15年9月25日 (2003.9.25)	(74) 代理人	100082913 弁理士 長野 光宏
		(72) 発明者	小林 勲雄 静岡県掛川市大野527
		Fターム(参考)	3E061 AA16 AB08 BB02 DA09 3E062 AA04 AB02 AC03 HA03 HB02 HB07 HC06 3E093 AA02 AA12 BB01 CC01

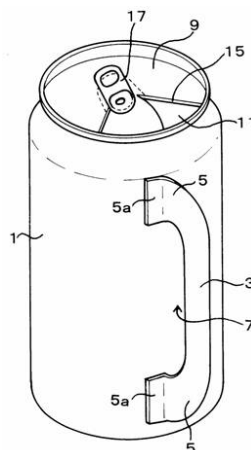
(54) 【発明の名称】 飲料缶

(57) 【要約】

【課題】 ビールの飲料缶においてはジョッキでビールを飲む如き豪快な感触を味わうことができ、温かい緑茶、紅茶、コーヒー、ココア等の飲料の飲料缶においては温かい飲料をカップで飲む如き好ましい感触を味わうことができるようにした飲料缶を提供する。

【解決手段】 缶本体(1)の側面には該缶本体と同じ材料により形成された取っ手(3)を起伏自在に上下方向に取り付け、缶蓋(9)には開口時の飲口(11)が缶蓋の面積の1/3以上を占めると共に開口時の飲口(11)が平面図において取っ手(3)を缶本体(1)の側面に対し直角に起こしたときにおける該取っ手の中心線(13)を挟んで対称になるように破断誘引のスコアー(15)を形成したことを特徴とする飲料缶。

【選択図】 図1



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

缶本体の側面には該缶本体と同じ材料により形成された取っ手を起伏自在に上下方向に取り付け、缶蓋には開口時の飲口が缶蓋の面積の 1 / 3 以上を占めると共に開口時の飲口が平面図において取っ手を缶本体の側面に対し直角に起こしたときにおける該取っ手の中心線を挟んで対称になるように破断誘引用のスコアーを形成したことを特徴とする飲料缶。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本発明は、飲料缶に関するものであり、特に、冷えたビール又は温かい緑茶、紅茶、コーヒー、ココア等の飲料を収納する飲料缶に係るものである。

## 【背景技術】

## 【0002】

飲料缶は容器本体の開口上端に缶蓋を備えており、該缶蓋には小さな飲口を形成するための破断誘引用のスコアーを設けている。

## 【0003】

特開平 9 - 2 1 6 6 3 4 号公報は、ビールを収納する飲料缶用の取っ手を開示している。この取っ手は、取っ手本体の上端には飲料缶の上縁に係止する下向き凹部を設け、取っ手本体の下端には飲料缶の下縁に係止する上向き凹部を設け、該取っ手本体を飲料缶に着脱自在としてなるものである。

## 【0004】

特開平 9 - 2 1 6 6 3 4 号公報の発明は、ビールの飲料缶にこの取っ手を取り付けたときには、飲用者があたかもジョッキによりビールを飲んでいるかの如き雰囲気を楽しむことができるようにしようとするものである。

## 【特許文献 1】特開平 9 - 2 1 6 6 3 4 号公報

## 【発明の開示】

## 【発明が解決しようとする課題】

## 【0005】

しかしながら、特開平 9 - 2 1 6 6 3 4 号公報により開示された取っ手は、飲料缶に対し着脱自在であるため、例えば自動販売機により販売される飲料缶の場合には、取っ手を飲料缶とは別に用意しなければならないという問題がある。

## 【0006】

また、特開平 9 - 2 1 6 6 3 4 号公報により開示された取っ手は、飲料缶に対する着脱が面倒である。

## 【0007】

更に、ビールの飲料缶に特開平 9 - 2 1 6 6 3 4 号公報の取っ手を取り付けたときでも、破断誘引用のスコアーにより缶蓋に形成される飲口が小さいため、飲用者はジョッキによりビールを飲むときの豪快な感触を味わうことができない。

## 【0008】

本発明は、従来技術における上述の問題点を解決し、ビールの飲料缶においてはジョッキでビールを飲む如き豪快な感触を味わうことができ、温かい緑茶、紅茶、コーヒー、ココア等の飲料の飲料缶においては温かい飲料をカップで飲む如き好ましい感触を味わうことができるようにした飲料缶を提供しようとしてなされたものである。

## 【課題を解決するための手段】

## 【0009】

上記課題を解決するために、本発明は、缶本体の側面には該缶本体と同じ材料により形成された取っ手を起伏自在に上下方向に取り付け、缶蓋には開口時の飲口が缶蓋の面積の 1 / 3 以上を占めると共に開口時の飲口が平面図において取っ手を缶本体の側面に対し直角に起こしたときにおける該取っ手の中心線を挟んで対称になるように破断誘引用のスコ

10

20

30

40

50

アーを形成したことを特徴とする飲料缶を提供するものである。

【0010】

本発明による飲料缶には、例えば、冷えたビール又は温かい緑茶、紅茶、コーヒー、ココア等の飲料が収納される。飲料缶の運搬時、保管時等の飲用前においては、缶本体の側面には取っ手が該側面に近接した状態で取り付けられている。飲用時には、缶本体の側面に取り付けられた取っ手を起こして把持し得るようになすと共に破断誘引用のスコアーにより缶蓋に飲口を形成した状態で、取っ手を把持して、飲料を飲むのである。開口された飲口は、缶蓋の面積の1/3以上を占める。缶本体ではなく取っ手を把持するため、手によりビールが温まり、或いは温かい緑茶、紅茶、コーヒー、ココア等の飲料により手が熱く感ずることはない。飲用後、取っ手を缶本体の側面に押し付けた状態で飲料缶を廃棄する。

10

【発明の効果】

【0011】

本発明は下記の如き優れた効果を発揮する。

【0012】

(イ) 取っ手は缶本体の側面に取り付けられており、飲用時には単に該取っ手を起こすことにより該取っ手を把持し得るようになればよい。この作業は極めて容易である。

【0013】

(ロ) 破断誘引用のスコアーにより缶蓋に形成される飲口は缶蓋の面積の1/3以上を占めるため、該飲口は従来飲料缶に形成される飲口に比べて極めて大きい。従って、取っ手を把持して飲用する際には、ビールの飲料缶においてはジョッキでビールを飲む如き豪快な感触を味わうことができ、温かい緑茶、紅茶、コーヒー、ココア等の飲料の飲料缶においては温かい飲料をカップで飲む如き好ましい感触を味わうことができる。

20

【0014】

(ハ) 缶蓋に形成される飲口が平面図において取っ手を缶本体の側面に対し直角に起こしたときにおける該取っ手の中心線を挟んで対称になるようにしたため、取っ手を右手で把持する場合でも、取っ手を左手で把持するばあいでも、飲料缶の飲料を全く支障なく飲用することができる。

【0015】

(ニ) 缶本体の側面に取り付けられる取っ手は、該缶本体と同じ材料により形成されているため、飲用後、該取っ手を缶本体の側面に押し付けた状態で飲料缶を廃棄することができる。換言すれば、取っ手を缶本体から分離してそれぞれ各別に廃棄する必要はない。因みに、取っ手が缶本体と異なる材料により形成されている場合には、廃棄時に、缶本体と取っ手とを分別することが要求されることがある。

30

【発明を実施するための最良の形態】

【0016】

符号1に示すものは缶本体である。缶本体1は、好ましくはアルミニウム合金等の金属により形成する。

【0017】

缶本体1の側面には該缶本体1と同じ材料により形成された取っ手3を起伏自在に上下方向に取り付ける。取っ手3は、缶本体1と同様に、好ましくはアルミニウム合金等の金属により形成する。

40

【0018】

図1に示す事例においては、取っ手3は一对の脚部5、5間に指を挿通させるための指挿通口7を有し、該脚部5、5の基端5a、5aを缶本体1の側面に固定している。

【0019】

缶蓋9には開口時の飲口11が缶蓋9の面積の1/3以上を占めると共に開口時の飲口11が平面図において取っ手3を缶本体1の側面に対し直角に起こしたときにおける該取っ手3の中心線13(図2参照。)を挟んで対称になるように破断誘引用のスコアー15を形成する。

50

## 【 0 0 2 0 】

符号 1 7 に示すものは破断誘引用のスコアー 1 5 により飲口 1 1 を形成する際に指で引くためのタブである。

## 【 図面の簡単な説明 】

## 【 0 0 2 1 】

【 図 1 】 本発明による飲料缶において、缶本体の側面に取り付けられた取っ手を起こして把持し得るようになすと共に破断誘引用のスコアーにより缶蓋に飲口を形成した状態を示す斜視図である。

【 図 2 】 同上の平面図である。

【 図 3 】 未使用状態の飲料缶を示す平面図である。

10

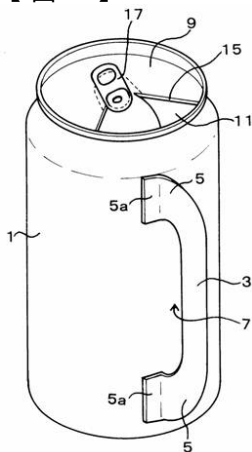
## 【 符号の説明 】

## 【 0 0 2 2 】

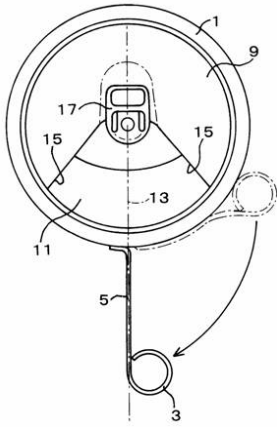
- 1 缶本体
- 3 取っ手
- 5 脚部
- 5 a 基端
- 7 指挿通口
- 9 缶蓋
- 1 1 飲口
- 1 3 中心線
- 1 5 破断誘引用のスコアー
- 1 7 タブ

20

## 【 図 1 】



【 図 2 】



【 図 3 】

